

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋
全体計画		平成28年度	～	平成32年度	経費区分			経常的経費		内線	3312
事務事業名	4068 福祉ボランティアセンター管理事業										
所 属	100100 健康福祉部・福祉課										
施 策	01020300 みんなで助け合う福祉										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費									
	事業	050000 福祉ボランティアセンター管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
ボランティアセンターの適切な管理運営を行うことにより、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる体制を整備し、ボランティア活動の拡大を進め、みんなで助け合う福祉の実現を図る。						平成13年8月より利用開始。指定管理者制度により須坂市社会福祉協議会に管理運営を委託し、ボランティア団体に有効に利用していただいている。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用団体数 354団体 ・利用者数 2,317人 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用団体数 337団体 ・利用者数 2,458人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用団体数 321団体 ・利用者数 2,233人 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用団体数 350団体 ・利用者数 3,000人
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	須坂市ボランティアセンター年間延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	3,000		5,000		5,800	
	実績	2,458	2,233				
指標選定の理由	社会福祉協議会で実施しているボランティア活動を支援し、気軽に参加できる体制を整えるとともに、ボランティアを市民活動と位置づけ拡大を進める結果としての指標とする。						
最終年度目標の根拠	過去最高値の平成21年度実績値5,251人以上とする						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		280	212
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		280	212
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		280.0	212.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	186	指定管理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	94	機器賃借料

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	186	福祉ボランティアセンター指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	26	機器賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	福祉ボランティアのための活動拠点として必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	活動拠点として、有効に利用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理を進めて行く。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
施設の一層の有効活用を進め、利用者の増加を図る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>気軽にボランティアに携わることができ、結果としてセンター利用者の増につながるよう、開かれたボランティアセンターづくりのため、指定管理者との連携が必要。</p>		<p>ボランティアや地域の助け合いがなければ、地域福祉は成り立たない、センターの活用が進むよう指定管理者と連携する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	